

第 2 学年	家庭	使用教科書等	教科書（東京書籍「新しい技術家庭 家庭分野」）	担当教員	小嶋 恵美
--------	----	--------	-------------------------	------	-------

【学習の目標】 健康・快適・安全で豊かな衣生活・住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣生活・住生活の課題を解決する力を養い、衣生活・住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。また、課題を持って、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

【授業の進め方や授業のポイントは何か】 ○自立と共生を目指そう。 自立と共生を目指すために、自分の生活の中の問題に向き合っ て、課題を見付け、解決する力を身に付けましょう。 ○自分と家族の生活を見つめよう。 家庭では様々なことが行われ、自分の生活は家族と支え合っ て成り立っています。自分の家族の生活がより豊かになるように、 学習したことを生活に活かしましょう。
--

【どのように家庭学習を進めればよいか】 ○生活者としての自覚を持って生活しよう。 中学生になり、できることが増え、周りの人々を支えることもでき ようになってきました。生活者としての自覚を持って、周囲の人々 と気持ちよく暮らせるように、知識・技能、実践する力をしっかりと 身に付け、生活の中で活かしましよう。 ○習ったことを生活の中で活かし、実践してみましょう。 習った知識・技能をもとに適切な意思決定ができる力を身に付け、 実際に行動することで、自分の生涯を通して生活をつくる力が培えま す。

【通知表のつけ方】	
評価の観点	何で頑張りを見るか
知識・技能	定期テスト
思考・判断・表現	定期テスト 課題、作品、レポート等 授業プリント
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト 課題、作品、レポート等 授業プリント

【1年間の授業計画】							
学 期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの	学 期	学習する内容	ここで付けたい力	使うもの
1 学 期	・衣服の働き ・目的に応じた着用 ・個性を生かす服装 ・日本の衣文化 ・衣服の計画的な活用 ・衣服の選択 ・衣服の手入れ ・布を用いた物の製作 ・持続可能な衣生活を目指して	・衣服と社会生活との関わりについて理解できる。 ・目的に応じた着用や個性を生かす着用について理解し、自分らしい着方について、工夫し創造し、実践できる。 ・衣服と社会生活との関わり（和服）について理解できる。 ・衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組む。 ・衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性について理解できる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解できる。 ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践できる。	教科書 プリント	2 学 期	・安全・安心な住まい（家庭内事故、災害への対策） ・持続可能な住生活を目指して	・家庭内の事故の防止や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し、問題を見いだして課題を設定し、考え工夫できる。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解できる。 ・よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとしている。	教科書 プリント
				3 学 期	・消費者としての自覚 ・購入方法と支払い方法 ・計画的な金銭の管理 ・消費者トラブル ・商品の選択 ・消費者の権利と責任 ・持続可能な消費生活を目指して	・物資・サービスや・売買契約の仕組み、購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、消費者被害の背景とその対応について理解できる。 ・商品（物資・サービス）の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解できる。 ・自立した消費者としての消費行動について考え、工夫できる。 ・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践できる。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解できる。 ・自立した消費者としての社会や環境に配慮した生活について考え、工夫し、実践できる。	教科書 プリント
2 学 期	・住まいの役割 ・家族の生活と住空間との関わり ・日本の住まいと住まい方 ・健康で快適な住まい	・家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能、家族の生活と住空間（和式と洋式など）との関わりについて理解できる。 ・住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組む。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解し、工夫できる。	教科書 プリント	※定期テストの予定 1 学期 期末テスト 2 学期 期末テスト 3 学期 学年末テスト			